

以前のテンプレートの設定を引き継ぐには？（テンプレート移行の実施）

ライブラリディスクで更新されたテンプレートは材料情報は更新されるものの、お客様が設定した内容は初期値に戻ってしまいます。新しいテンプレートにお客様の設定を引き継ぐ作業を行います。

引き継ぐ内容によって作業の手順が異なりますので、引き継ぐ内容に応じていずれかの操作を行ってください。

※これまで作成した PLN ファイルから図面枠やレイヤーなどの設定を引き継がない場合は、以下の作業は必要ありません。

新しいテンプレートファイル に引き継ぐ内容によって操作が異なります。

図面枠だけを続けて使いたい		図面枠・レイヤー・レイヤー セット などテンプレートの設定全般を 続けて使いたい
RIKCAD21 を新規で起動すると、レイアウト画面にすでに図面枠が配置されるようにしたい。		レイアウト画面の図面枠や、レイヤー・レイヤーセットの設定など、テンプレートを細かく設定しており、設定全般を引き続き使用したい。
↓		↓
更新された新しいプランファイルに、過去のプランファイルからのレイアウトブックを結合し、図面枠を取り込みます。		更新前のプランファイルの材料情報を最新のものに更新し、レイヤーの整理を行います。
↓		↓
手順 Aへ（2ページへ）		手順 Bへ（3ページへ）

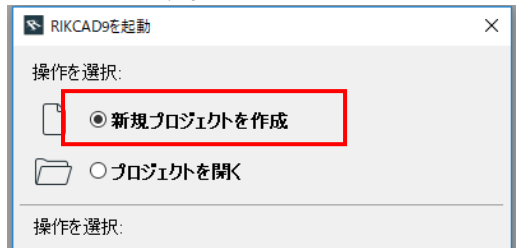
手順A

ライブラリ更新後のプランファイルにこれまでの図面枠を適用するには？

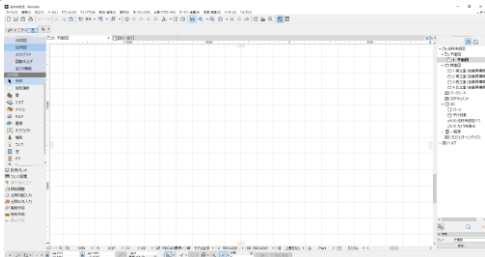
ライブラリディスクを使用して、RIKCAD21 テンプレートの更新を行った場合、更新前に使用していたテンプレートの図面枠などがすべて初期値（何も配置されていない状態）に戻ってしまいます。ここでは更新実行後に引き続き図面枠を使用する手順をご説明します。

①テンプレート更新実行後、デスクトップ上のショートカットなどから RIKCAD9 を起動します。

[操作を選択]画面で“新規プロジェクトを作成”をクリックします。

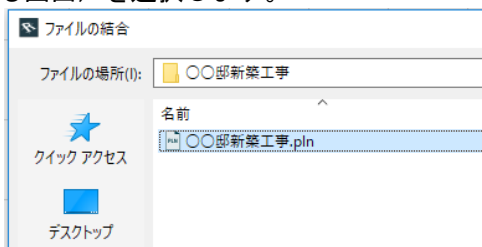


②新規の図面を開きます。



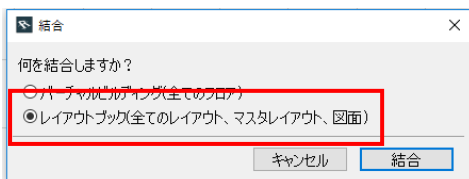
③[ファイル]-[結合]をクリックします。

更新前に作成した PLN ファイル（図面枠を使用している図面）を選択します。



④結合設定画面が表示されます。

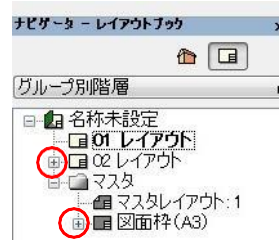
選択画面から「レイアウトブック」にチェックをいれ、[結合]ボタンをクリックします。



⑤データの読み込みが始まり、しばらくすると平面図の画面に戻ります。これで以前のプランからレイアウトブックがコピーされます。

⑥レイアウト画面に切り替えます。

レイアウト画面を見ると、旧 PLN ファイルのレイアウトが追加されています。レイアウト・マスタレイアウトの項目に[+]がついているものが取り込んだレイアウトになります。



⑦01_レイアウトを右クリックし、[レイアウト設定]画面から、一般設定のマスタレイアウトを図面枠の入っているマスタレイアウトに設定し[OK]ボタンをクリックします。

不要な 01_レイアウト、マスタレイアウト:1 の順に削除します。

⑧02_レイアウトをダブルクリックします。

結合した PLN ファイルの平面図や、パース図などが配置されたままになっている場合があります。

その場合、矢印ツールなどを使用して、不要な図面・文字データを削除していきます。

※結合元のデータに影響はありません。



⑨平面図に戻ります。

最後にこのファイルをテンプレートとして保存します。[ファイル]-[名前を付けて保存]をクリックし、C(D):¥RIKCAD7¥RIKCAD21 テンプレート フォルダ内にある

「RIKCAD21 テンプレート.pln」に上書き保存を行います。RIKCAD21 を終了し、作業は終了です。

次回新規作成時より、取り込まれたレイアウトブックが使用できます。

手順B

ライブラリ更新前のプランファイルに新しい材料情報を適用するには？

ライブラリディスクを使用して、RIKCAD21 テンプレートの更新を行った場合、更新前にお客様が行っていたテンプレートの設定（レイヤー設定や図面枠）などがすべて初期値に戻ってしまいます。更新実行後にお客様が設定した各種設定が登録されたバックアップファイルに商材メーカーの新しい材料情報を更新する方法をご案内します。

※ライブラリでの更新前にご自分で設定した PLN ファイルのバックアップとっておく必要があります。

材料情報の更新（必須）

①ライブラリ更新によってテンプレート更新を行うと
[C(D):¥RIKCAD9¥RIKCAD21 テンプレート] フォルダ内に、「RIKCAD21 テンプレート.pln」「201..._pln.bak」「RIKCAD21 テンプレート.xml」という3種類のファイルが作成されています。



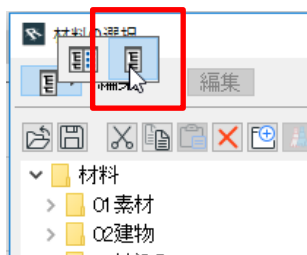
- ①今までお客様が使用されていたテンプレートファイル
- ②自動更新でダウンロードされたファイル（最新のテンプレート）
- ③自動更新でダウンロードされた最新の材料情報ファイル

②「201..._PLN.bak」をデスクトップなどに移動します。
移動後「201..._PLN.bak」の拡張子を「_PLN.bak」から「.pln」に変更し、「201..._pln」とします。



③デスクトップ上にできた「201..._pln」をダブルクリックし、RIKCAD9 を起動します。
開いたファイルにお客様が設定した各種設定が残っているか確認します。設定がない場合、手順②で移動するファイルが異なっている可能性がありますので、再度ご確認ください。

④画面上部の[オプション]-[材質]をクリックします。
材料画面が表示されますので、左上のボタンから材料画面の表示方法を切り替えます。

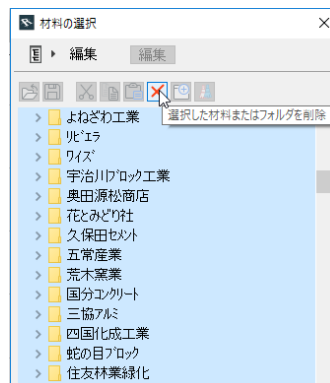


⑤データを更新するためメーカーフォルダをすべて削除します。

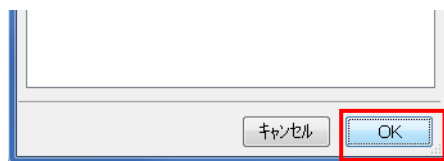
B-life.s フォルダを選択し、「Shift」キーを押しながらメーカーフォルダをすべて選択します。

その後、上部の[×]をクリックすることでフォルダを削除できます。

⚠ 商材メーカーのフォルダ内にコピーして作成した材料がある場合は、メーカーのフォルダ名を変更したり、99_ユーザーオリジナルフォルダに移動させてください。
01_素材～99_ユーザーオリジナルは削除する必要はありません。

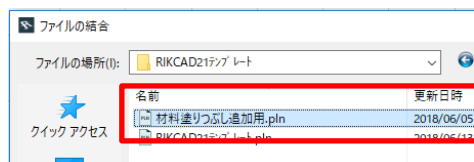


⑥すべてのメーカーのフォルダが削除できたら、「OK」ボタンを押して「材料の選択」画面を終了します。



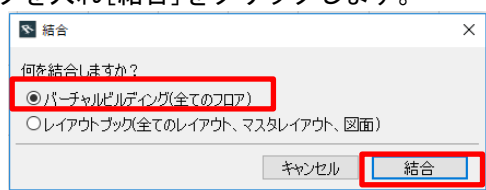
⑦RIKCAD9 の[ファイル]-[結合]をクリックします。

「ファイルの結合」画面が表示されますので、[C(D):¥RIKCAD9¥RIKCAD21 テンプレート]フォルダ内の「材料塗りつぶし追加用.pln」を選択して[開く]をクリックします。

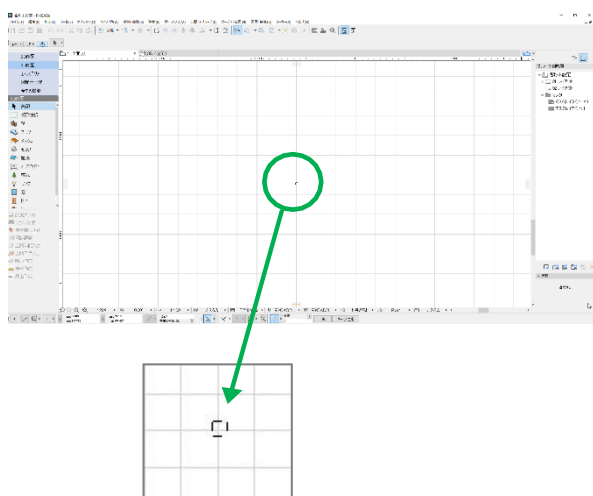


⑧結合する内容を選択します。

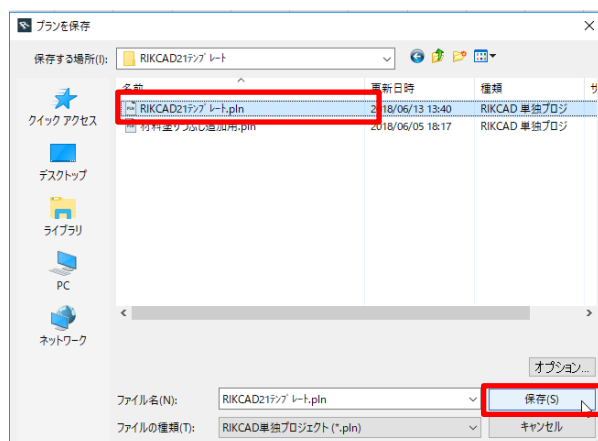
現在開いているテンプレートに最新の材料情報を追加するには「バーチャルビルディング（全てのフロア）」にチェックを入れ[結合]をクリックします。



⑨結合が完了すると、図面中央部に矩形で選択された領域が表示されますので、図面上で一度クリックします。これで矩形の領域が表示されなくなります。



⑩最後にこのファイルをテンプレートとして保存します。
[ファイル]-[名前を付けて保存]をクリックし、[C(D):¥RIKCAD9¥RIKCAD21 テンプレート]フォルダ内にある
「RIKCAD21 テンプレート.pln」に上書き保存を行います。



RIKCAD9 を終了し、作業は終了です。

次回新規作成時より、設定が反映された状態で使用することができます。